

ムギ類赤かび病情報第1号

平成30年 4月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

今後の天候に注意しましょう

名古屋地方气象台4月12日発表の1か月予報によれば、天気は数日の周期で変わりますが、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。また、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。降雨が少なく湿度が低い条件は本病の感染に適していませんが、出穂期や開花期を迎えるほ場では、気象の変化に注意しましょう。

感染予防のための防除時期は、開花期（出穂5～10日後）です。すでに防除適期となったほ場もありますので、ほ場ごとの生育状況に注意し、適期防除に努めましょう。

赤かび病は、ムギの出穂期以降に気温、湿度ともに高い状態が数日続く場合に発生が多くなります。このような気象条件となった場合は、1回目（開花期）の防除から約7～10日後に2回目の防除を実施しましょう。

表 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	FRACコード
小麦	ベルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	M07
	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	11
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内	1
	トップジンMゾル		(出穂期以降は2回以内)	
	ベフラン液剤12.5	収穫14日前まで	3回以内	M07
	ベフラン液剤25		(出穂期以降は1回以内)	
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	3
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	3
トリフミン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	3	
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	3
	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	3
無人ヘリコプター用				
作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	FRACコード
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	1
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	3
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	3
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	3
	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	3

FRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

1：MBC殺菌剤 3：DMI殺菌剤 11：QoI殺菌剤 M07：ヒスグアニジン類

FRACコードの詳細は、http://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2017/mechanism_frac03.pdfを参照する。
薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。